

17年度 決算総額 215 億円を

認定

平成 17 年度決算額

会計区分		歳 入	歳 出
一 般 会 計		108 億 9,907 万円	108 億 1,667 万円
特 別 会 計	国民健康保険	30 億 2,557 万円	29 億 8,963 万円
	老人保健	30 億 5,164 万円	29 億 9,384 万円
	公共下水道事業	15 億 6,957 万円	15 億 5,912 万円
	介護保険	15 億 4,138 万円	15 億 2,425 万円
水 道 事 業 会 計	収益的収入支出	12 億 5,235 万円	12 億 6,118 万円
	資本的収入支出	1 億 1,530 万円	3 億 5,606 万円
合 計		214 億 5,488 万円	215 億 75 万円



17年度の一般会計および各種特別会計等の歳入歳出決算認定が求められ、総括質疑（4人）の後、決算審査特別委員会を設置して審議しました。決算審査の認定では2人の討論がありました。原案どおり認定しました。

町の財政は、町税等の収入が落ち込む一方、公債費（借金返済）は高水準となり、社会保障関連の特別会計への繰出金なども増加しています。

現在、町の財政破綻が危惧される中、町民一人一人の生活が切り捨てにならないように、議会としても様々な対応に取り組んでいきます。



新栄集会所

17年度の主な事業は、新栄集会所の建設、都市計画道路新栄通線の整備、仙台大学施設整備の支援などがありました。

討 論

17年度決算認定につき、2名の議員から討論がありました。

反対討論

広 沢 真 議員

賛成討論

我 妻 弘 国 議員

私は17年度の町の施策についてすべてを否定するものではありません。しかし、現在の財政難は急に起こったものではなく、借金で大型事業を進めていた時期を含め、その後も借金依存体質があり、現在に至っています。

また、国保事業では、申請減免の充実、窓口負担の減免制度が実現したことは評価できるが、今年度も含めれば3年連続の税引き上げであり、加入者の負担は限界に近づいていて、経済的理由の受診抑制が起こってきています。弱い立場におかれている高齢者、子ども達や障害者、生活難に陥っている町民に対する生活切り捨てにならない施策を強く要望し、反対討論といたします。

歳入では、税収の落ち込み、交付税削減がありました。また、財政調整基金の取り崩しで予定どおり適正に執行されています。

歳出では、人件費、經常経費が削減され、防犯灯設置、町道富沢11号線測量委託事業、育児支援、成人保健、中学生の国際交流チャレンジ学習事業をはじめ、国民健康保険、老人保健、介護保険への繰出金など、住民の緊急度・優先度の高い事業が、効率的・重点的になされています。特に国保事業は医療費が増加しており、その対策の一つに高額医療費共同事業が行われましました。

本決算は住民福祉を重視して民生の安定に寄与したことを評価し、賛成討論といたします。